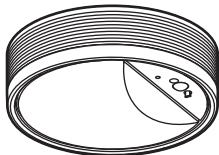


Panasonic®

施工説明書

住宅用照明器具(「ナノイー」搭載FreePaトイレ灯)



品番 HH-SB0096N
HH-SB0096L

お客様へ 器具の施工には電気工事士の資格が必要です。必ず販売店、工事店に依頼してください。

工事店様へ 施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や
損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある
内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が
発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の図記号で
説明しています。(下記は図記号の一例です。)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



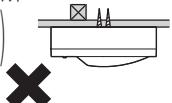
警告

■取付面

●次のような場所には取り付けない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

・補強のない場所

(ベニヤ板や
石こうボード
など)



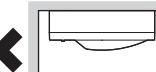
・不安定な場所



・傾斜した
場所



・掘込天井



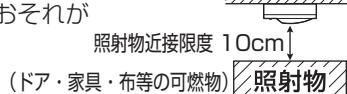
◎この器具は水平天井面取付専用です。



必ず守る

●照射物近接限度内にドア開閉範囲や
家具などの可燃物が近づかないように
考慮して取り付ける

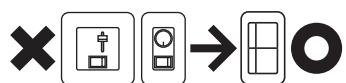
守らないと、照射物の
変色、火災のおそれ
があります。



必ず守る

■壁スイッチ

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、
一般の入切用スイッチに交換する
火災のおそれ
があります。



◎調光器の取り外しが必要です。

■その他

●器具の取り付けは、説明書に従い確実に行う
取り付けに不備があると火災、感電、落下に
によるけがのおそれがあります。

●交流100ボルトで使用する

過電圧を加えると過熱し、火災、感電の
おそれがあります。

●電源線は端子台の差込み穴の奥まで
確実に差し込む

差し込みが不完全な場合、
火災、感電のおそれがあります。

●本体取り付け時、電源線を本体で挟まない
取り付けに不備があると火災、感電のおそれ
があります。

⚠ 注意



● 温度の高くなるもの上に取り付けない

火災の原因となることがあります。

◎レンジ等温度の高くなるもの上に取り付けないでください。

● 油煙や湯気が当たるような場所に取り付けない

火災、故障の原因となることがあります。

◎ガスコンロ、湯沸し器などの真上に取り付けないでください。



水ぬれ禁止

● 浴室など温気の多い場所や屋外で使用しない

火災、感電の原因となることがあります。

◎この器具は防湿、防雨型ではありません。



必ず守る

● 器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用する

けがのおそれがあります。

施工前のご確認事項

■ 取付場所についてのご注意

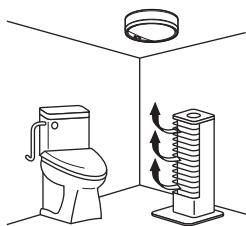
● 次のような場所には取り付けないでください。

この器具は、周囲の明るさと温度変化をセンサで検知して動作するため、以下のような場所に取り付けると誤動作の原因となります。トイレ以外にも使用できますが、検知範囲を極小空間に合わせて設定しているため、検知範囲より大きな部屋では人を検知できない場合があります。（連続点灯はできません。）

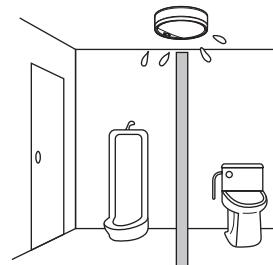
✗ 風などでよくゆれるカーテンや植物の近くなど



✗ 溫風ヒーターなどがあり急激に温度変化するところ



✗ 間仕切りしているトイレやトイレが広い場合



✗ 取り付け高さが3mを超える場所

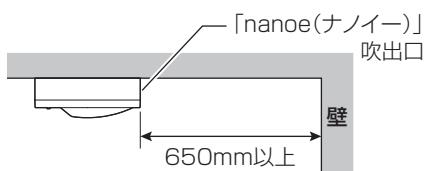


● センサの検知範囲内^(※1)にエアコンの吹き出し口や換気扇等、動作する機器がないことをご確認ください。
誤動作の原因となります。※1 : 次ページ「センサの検知範囲」参照

● 換気をすると「nanoe(ナノイー)」が室外に流れ効果が得られません。
24時間換気の部屋にはお勧めしません。

● 火災警報器の近くに器具を設置しないでください。
器具と火災警報器の距離は1.5m以上離してください。
詳細は火災警報器の説明書をご確認ください。

● 「nanoe(ナノイー)」吹出口から壁まで650mm以上離してください。
器具本体と周囲の汚れの原因となります。



■ 配線についてのご注意

● 必ず壁スイッチを設けてご使用ください。（スイッチは別途ご用意ください）
・ 「nanoe(ナノイー)」運転動作の切り替えができません。
・ センサによる点灯動作に異常が発生したとき、リセットできません。

● ほたるスイッチと接続する場合は器具1台につきスイッチ3個までご使用ください。
(4個以上のほたるスイッチと接続すると、スイッチを切にしても 器具が消灯しないことがあります。)

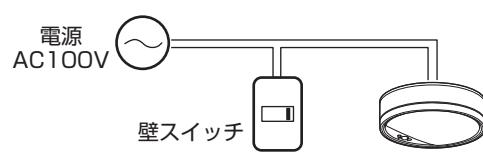
● 壁スイッチにパイロットスイッチを使用すると、壁スイッチがONの状態
でも照明器具が消灯状態（センサ待機状態）のときは、パイロットスイッチ
表示が点灯しない場合があります。（故障ではありません）

● 通常は壁スイッチをONにした状態でご使用ください。

● 一般照明器具や換気扇との連動はできません。

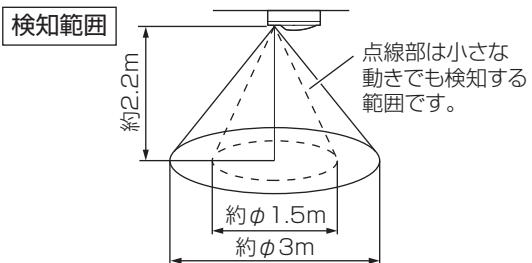
● センサ子器を使っての多箇所検知はできません。

● 壁スイッチはセンサ器具1台につき1個設置してください。複数台を1個の
スイッチに配線すると、「nanoe(ナノイー)」運転動作にバラツキが生じるおそれがあります。



センサの検知範囲

- 必ず点線内に便器がくるように取り付けてください。

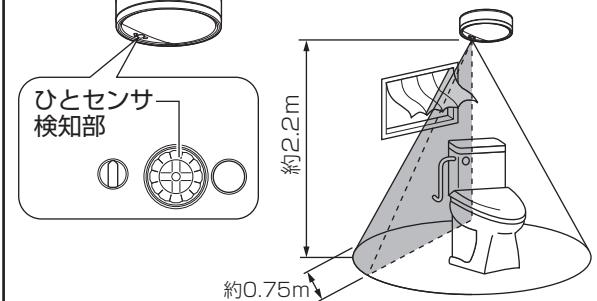
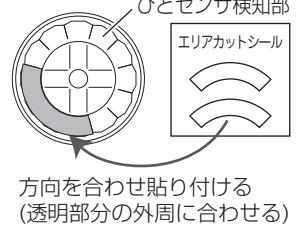


ご注意

- この器具のセンサは、熱源の温度変化を動きとしてとらえます。そのため、動物など人以外の動きも検知して照明が点灯する場合があります。また、静止状態の人などは検知しない場合があります。
- 検知範囲は気温、服装、移動速度、進入方向、体温、器具の取り付け高さや方向などにより変化します。
- 夏場など、気温が体温に近い状態になると、温度変化が小さいため検知しない場合があります。
- センサの性能上、器具に向かってまっすぐ近づいた場合、器具の近くまで近づかないで検知しないことがあります、器具の故障ではありません。
- 自動開閉式便座を使用している場合、センサがふたの開閉を検知して自動的に点灯する場合があります。（点灯保持時間経過後、消灯します。）

エリアカットについて

- トイレに窓があり、カーテンが風にゆれて点灯する場合などは、検知部にエリアカットシールを貼り付けて、検知範囲を狭めてください。



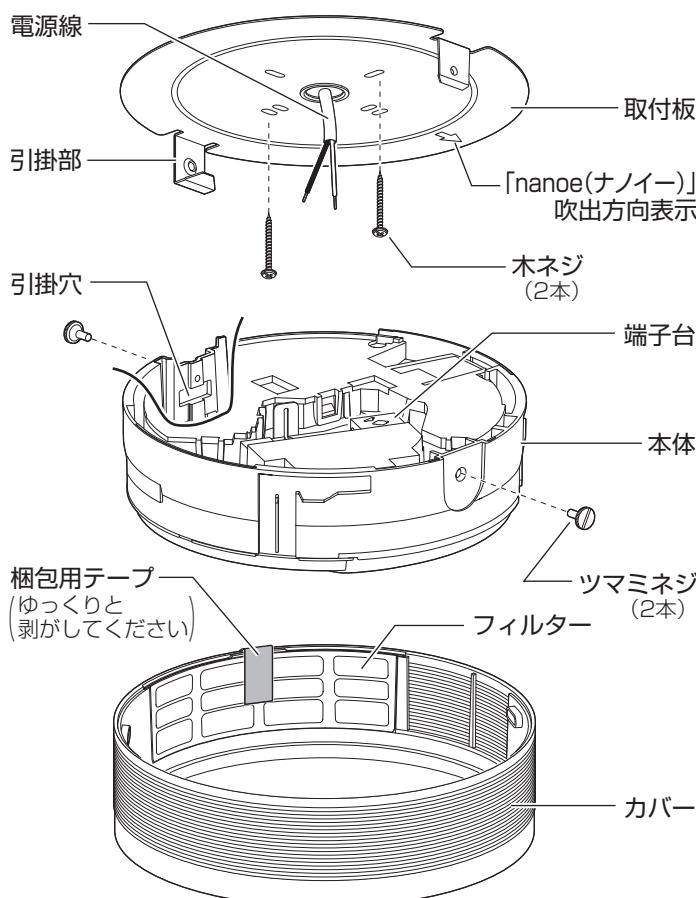
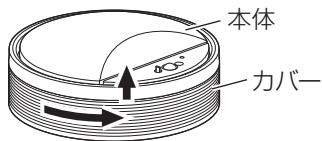
各部のなまえと取り付けかた

安全のため、電源を切ってから行ってください

- 器具の取り付けは、手袋など保護具を使用してください。

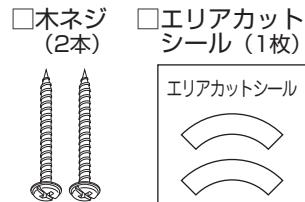
取り付け前のご準備

- カバーを止まるまで左に回し、本体から取り外す（右図参照）
- 本体からツマミネジ（2本）を外す
- 取付板の引掛部から本体の引掛け穴を外す



付属部品

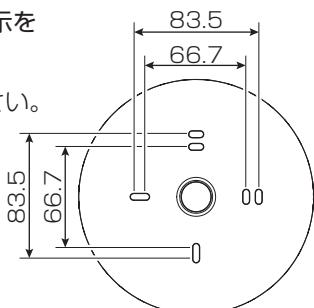
施工する前にまず付属部品をご確認ください



※エリアカットシールは必要に応じてひとセンサ検知部に貼り付けてください。
(前ページ「取付場所についてのご注意」参照)
使用しない場合、必ずお客様にお渡しください。

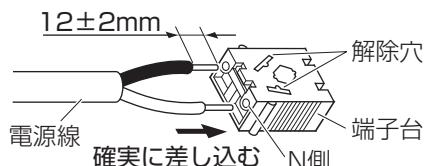
1 付属の木ネジ（2本）で取付板を取り付ける

- 「nanoe(ナノイー)」吹出方向表示を確認しながら取付方向を決める。「nanoe(ナノイー)」吹出口から壁まで650mm以上離してください。
(前ページ「取付場所についてのご注意」参照)
- 取付板の中央穴に電源線を通し、木ネジを確実に締め付ける。
- 取付ピッチ：
66.7mm、83.5mm



2 端子台に電源線を接続する

- 適合電線：VVVF ϕ 1.6、 ϕ 2.0単線

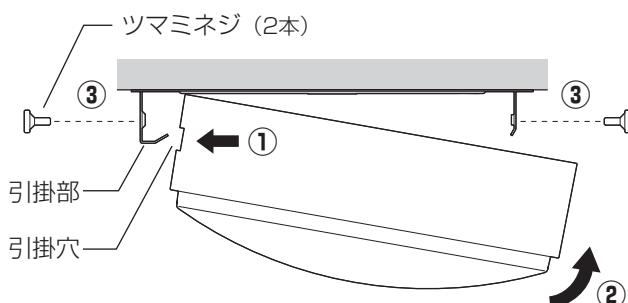


器具の取り替え等で電源線を外す場合は、マイナスドライバー等を解除穴に差し込みながら電源線を引き抜く。

(次ページにつづく)

3 本体を取り付ける

- ①取付板の引掛部に、本体の引掛穴を引っ掛ける
- ②反対側を持ち上げる
- ③片手で本体を支えながらツマミネジ（2本）を締め付け、本体を固定する

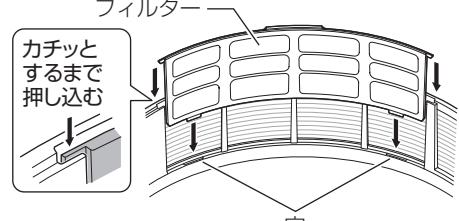


警告

本体取り付け時、電源線を本体で挟まない
取り付けに不備があると火災、感電のおそれがあります。

4 カバーを取り付ける

- ①カバー内側にフィルターが取り付いていることを確認する
- ・外れている場合は、カバーにフィルターをはめ込んでください。



- ②本体とカバーの▲印を合わせ、カバーの凸部（3ヵ所）を本体のガイド部へ押し上げる
- ・カバーの▲印と凸部（3ヵ所）は、カバーの内側にあります。

- ③カバーを止まるまで右に回す

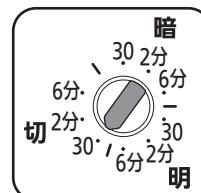


昼間でも設定できます

検知範囲と調整ツマミを設定する

1 検知範囲を設定する

- ①壁スイッチをOFFにする
- ②調整ツマミを右記の設定（切-30）にする
- ③壁スイッチをONにする
- ④運転ランプ（青）が点灯していることを確認する



- ⑤センサの検知範囲の外に出る

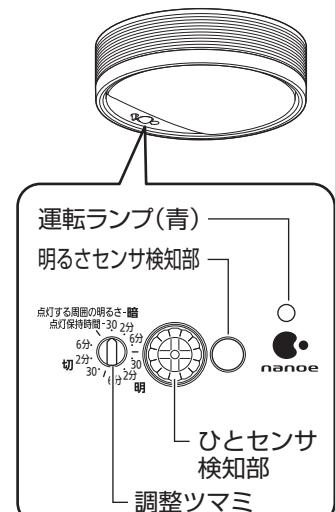
・照明が約40秒間点灯してから消灯します。

点灯しない場合は以下的原因が考えられます。

・「nanoe(ナノイー)」運転がOFFになっている
⇒ 壁スイッチを一度OFFし、約2秒以上おいて、再び壁スイッチをONする

- ⑥照明が消灯したら器具に近づき、検知範囲を確認する

- ⑦検知範囲を変更したい場合は、ひとセンサ検知部にエリアカットシールを貼り付ける
☞3ページ「センサの検知範囲について」参照



2 調整ツマミを設定する

壁スイッチはいったんOFFにしてください

- 点灯保持時間（約30秒、約2分、約6分）、
ひとセンサがはたらきはじめる周囲の明るさ（暗、明、切）
を設定する。

☞取扱説明書 4ページ「センサ動作説明」参照

- (注意) ・調整ツマミが“カチッ”とするまで回してください。
・検知範囲に人がいても静止している場合、設定保持時間後、消灯します。

・設定後は壁スイッチをONにしてください。

